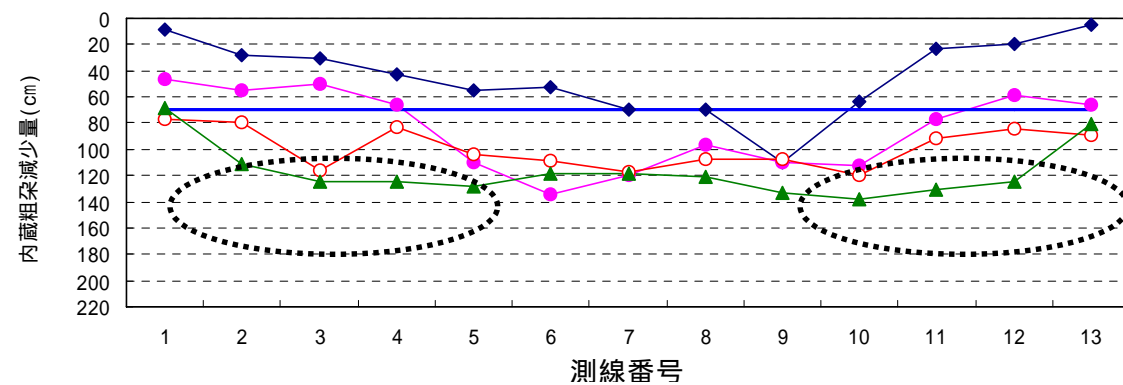


12. 粗朶消波工に関するとりまとめ

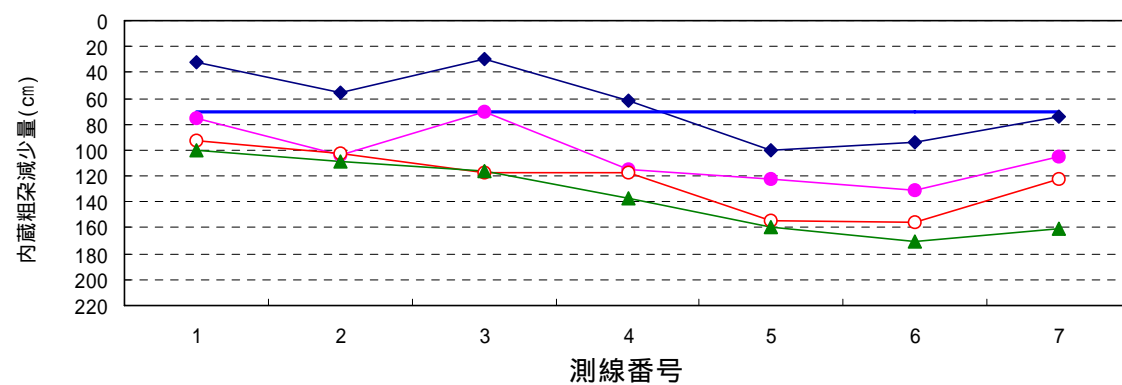
粗朶消波工整備後5年程度における内蔵粗朶の減少傾向

H18年度調査結果からみると、境島地区、鳩崎地区、根田地区では現在も内蔵粗朶が減少している傾向が続いている。このため、今後もこの傾向が想定される。

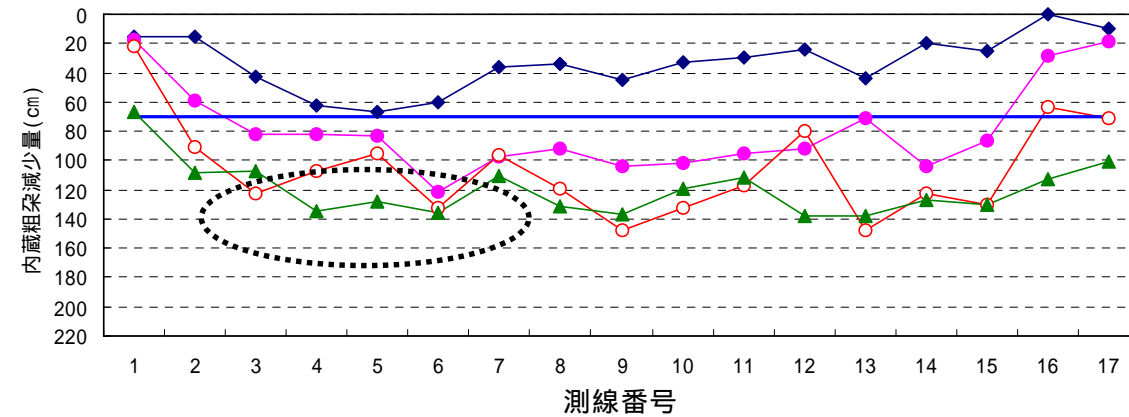
境島1 (L=60m) 沖側測線内蔵粗朶減少量



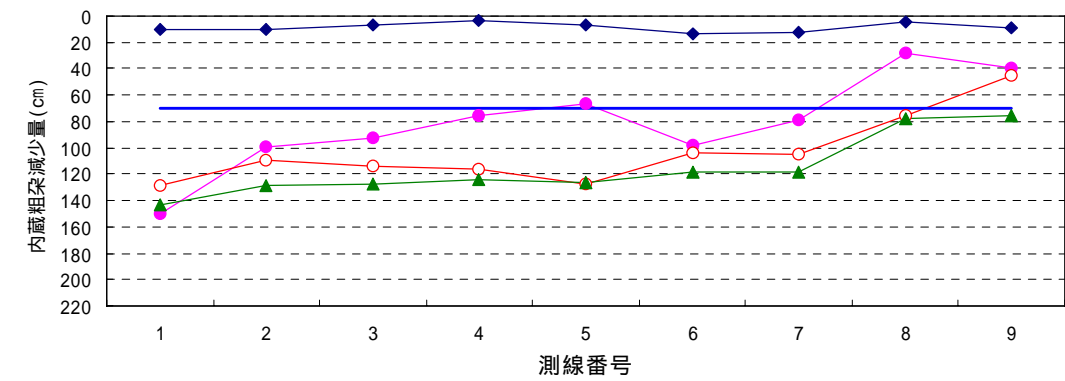
境島2 (L=30m) 沖側測線内蔵粗朶減少量



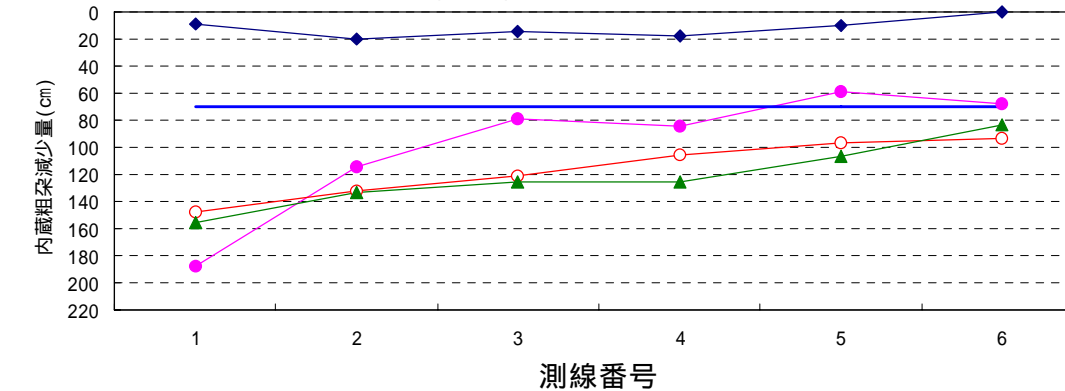
境島3 (L=80m) 沖側測線内蔵粗朶減少量



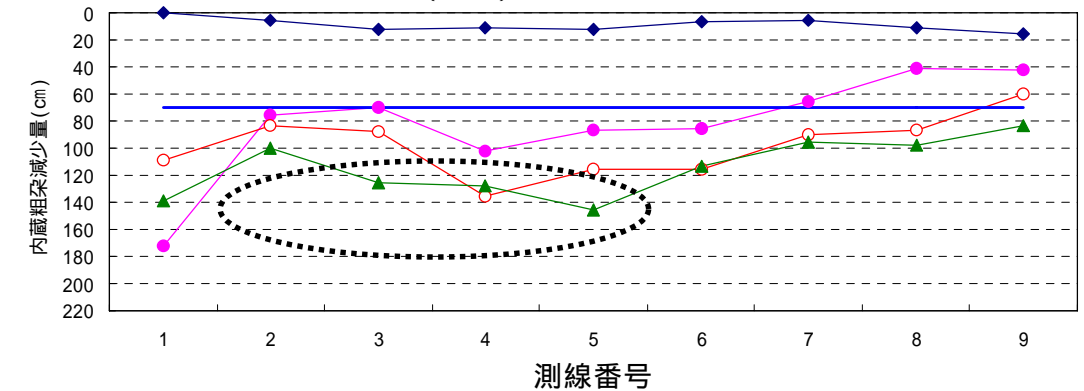
鳩崎9 (L=35m) 沖側測線内蔵粗朶減少量



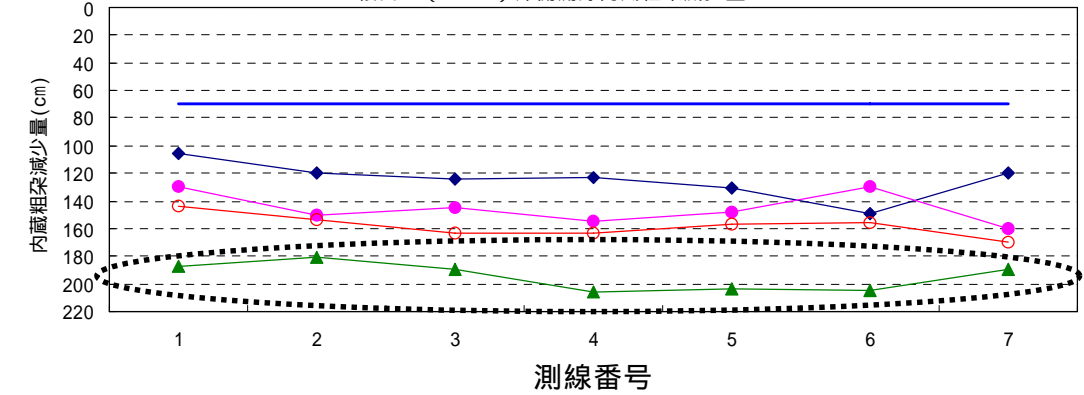
鳩崎10 (L=20m) 沖側測線内蔵粗朶減少量



鳩崎11 (L=35m) 沖側測線内蔵粗朶減少量



根田05 (L=80m) 沖側測線内蔵粗朶減少量



◆ 2003年8月
○ 2004年10月
○ 2005年10月
▲ 2006年10月
— 平均水位 (Y.P. +1.1m)